

ANGEL COMICS
ACTION PIZAZZ
BRAND

成年
コミック

ワンルーム ハーレム

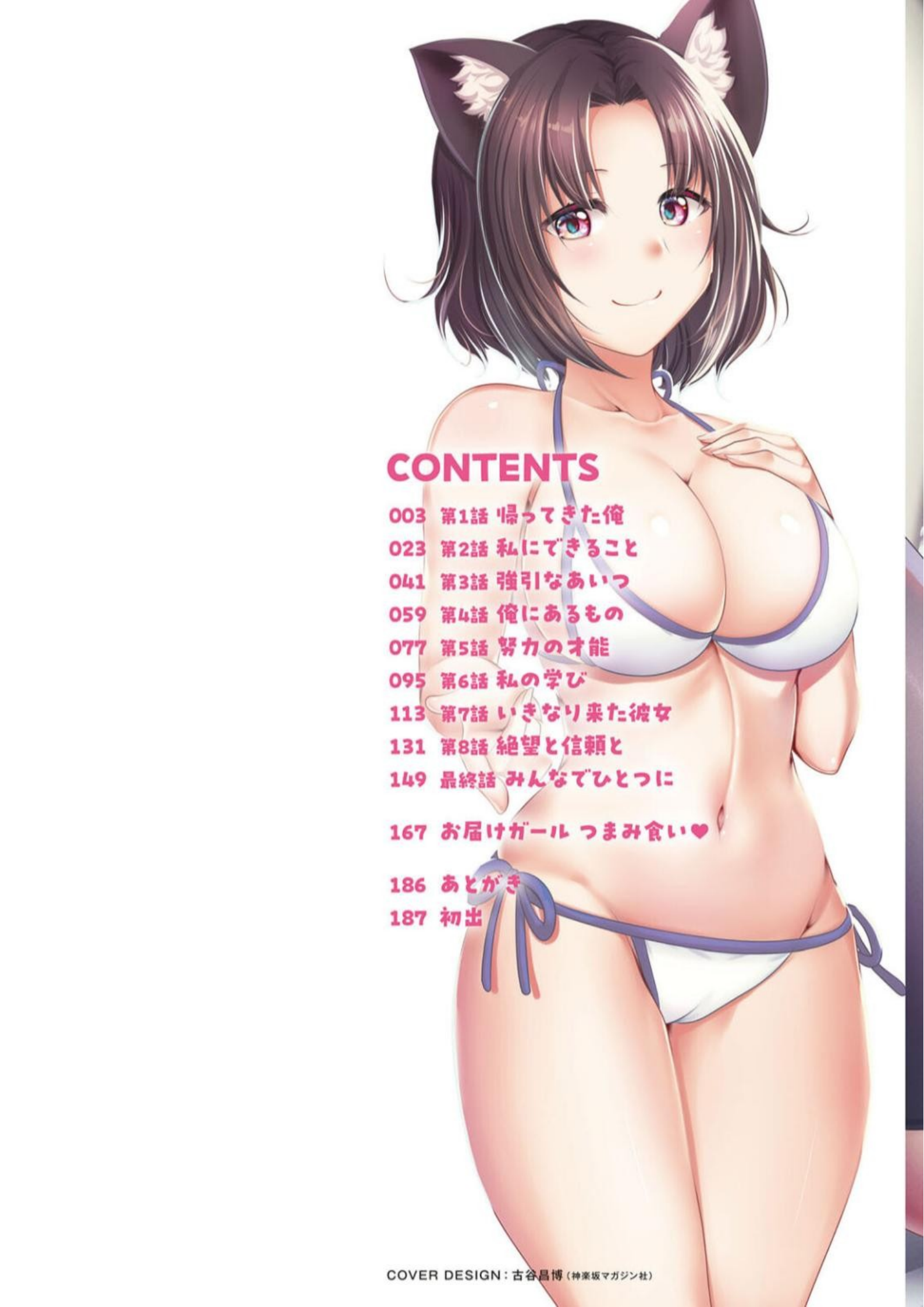
ONE ROOM HAREM

異世界帰りの
勇者さま

勇者さま

Rumi Matsunemi

松波留美



CONTENTS

- 003 第1話 帰ってきた俺
023 第2話 私にできること
041 第3話 強引なあいつ
059 第4話 俺にあるもの
077 第5話 努力の才能
095 第6話 私の学び
113 第7話 いきなり来た彼女
131 第8話 絶望と信頼と
149 最終話 みんなでひとつに

167 お届けガール つまみ食い♡

186 あとがき
187 初出

その日俺は
長い夢から覚めた

はず
だったのに…

私のおっぱい
気持ちいいですね？

え…あの…
二人とも…
いい…よ…

はあ!?

それじゃ
ダメです！

こうなったら…！

がばっ

アタシの方が
いいだろ!?

ドキ

ドキ

フニ

ニ

ふん

ふん

もー!!



勇者さまのが
奥まで…♡



固くて…
すごく…良い…です…♡

う…あ…
はげし…すぎ…っ





あーっ
な
腔内に
熱いの…っ！

あーっ

びゅん

もう…ダメだ…
いく…！

びゅん

びゅん

いっちゃんいっちゃんいっちゃん！

ふふふふ！！

ド
ム

ズ
ン
カ
ン

ワンルーム
ONE ROOM HAREN
バーレム

第1話 帰ってきた俺

異世界転生の
勇者ナギ

就職活動中の
大学生の俺
あまさわりく
天沢陸は

目覚めなさい

…う…

カ
い
ば

え…

どこだ
ここー!?

お目覚めですか
勇者さま

勇者!?

貴方はこの世界に
魔王を倒す者として
召喚されたのですよ

勇者さま

ある日異世界に
召喚されてしまった

アニメみたいな境遇に
俺がなってしまうとは…

でも現実には
アニメみたいに
上手くないなくて…

仲間として
付いてきてくれる事になった

戦士のエレと

ま…勇者の
お手並み拝見って
とこだな

怪我したら
私が回復しますね

と…とりあえず
あの暴れてる
魔物を
倒しましょう！

ゴブリンです…！

僧侶のミーシャだ

でやー！

タッ

キーン

…ッ！

ほろ

危ない！



魔物が一瞬で…

す…すごい…



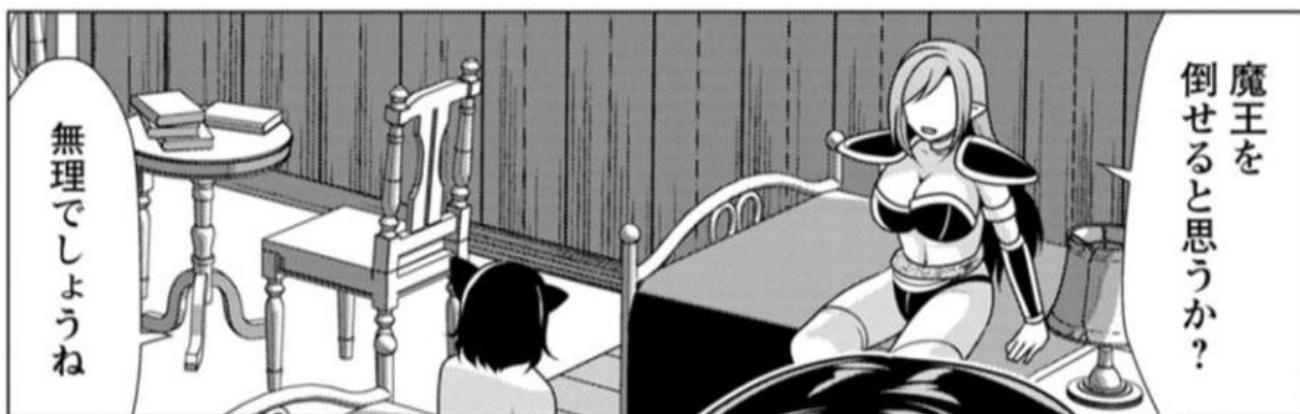
怪我はないか!?

気を付けて
くださいね

は…はい…

それからも
戦闘では二人に
頼ってばかりで

やっぱり俺に
勇者なんて
向いてない…





数か月後
俺たちは
魔王を倒した

その後
城で行われた宴で……

ついに
やったな！

魔王を倒すなんて
本当に勇者さまは
すごいです！

いや
二人がいてくれた
おかげだよ

アタシがあの時
魔王にフェイントかけたのが
勇者の決め手に
繋がったんだよなあ

私が勇者さまに
攻撃力アップの魔法を
かけたからですよねえ

ぎゅーっ！

まあまあ

……ところで
勇者はさあ

これから
どうするつもりなんだ？

元の世界に
戻るんですか？

あっちでは俺は
友達のいない
ただの就活生

誠に残念ではござ
りまして。ご期待に
なりました。ご
大変申し訳ござ
り。何卒ご了承く
ださい。お願いいたし

今後のご活躍を
お祈り申し上げます。
一層のご健康と
お祈り申し上げます。

何度もお祈りメールを
もらう生活には
もう嫌気がさしていた

……
この世界で暮らすよ
君たちもいるしね

本当か!?

じゃあこれからも
一緒ですね
勇者さま

今後よろしくな
勇者

なぜか俺の記憶は
そこで途絶えている……

はち

あ…

異世界じゃない
現実での俺の部屋…？

ああ…
さっきまでののは
夢だったのか…

そうだよな
異世界だなんて
夢だよな…

もぞ…

隣に
誰がいる!?

誰だ!?

ふみや…?

あ…?

ミーシャ!?
エレ!?

勇者さま!?

どうして
ここに!?

勇者!?

二人とも俺と同じように
宴の最中に気を失って

そこからの記憶は
ないらしい

…なるほど
ここが勇者さまの
住んでいる世界…

…あれ…

どうしてでしょう…
私…勇者さまを見たら…
身体が…熱く…

アタシも…

ええ!!

とろ…

このままでは
おかしくなって
しまいそうです

助けると思って
お願いします♡

抜け駆けすんなよ

アタシだって
身体が疼いて
仕方ねえんだ…♡

はー
はー

くはっ

くはっ

トロ

くはっ

そんなポーズされたからか
俺も身体が熱くなって……



ふあああああッ！

私の腔内……まで
届いて……ッ♡

こま

あ……

本当に
入ってる……！

んあ

勇者さま……と
一つ……になれて……♡

こま
あ

ズ
ン

ちゅ
ん

夢みたい……です♡

はあ
はっ

奥まで
絡みついてくる……！

やわらかいのこ
ちゅ

ダメだ！
腰が止まらない！！

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

あ…っ！
すごい…

激しい…です
勇者さま♡

んあ
あ
あ

んあ…♡

ズ
ズ
ズ

あひいいいいッ！

初めてな…のに
おかし…くなくて
しま…い…そう…♡

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ

んあ
あ
あ



かん

…次は…

だ

くちくち

あ…!!

うあああああッ!
一気に入って…!

スリッ

スリッ

スリッ

スリッ

ころ

あ…ちよ…っ

いきなり
はげし…すぎ
…だろ…!

ははは

あ
ぐ
スリッ

おかし…く
な…







熱い…の
うっほっ…ん

!!

あ…おおおっ！
勇者さまの…
でゅんぬんぬん…



はあ…

はあ

はあ

はあ

勇者さま…
…私…
幸せです…♡

…アタシも♡



ようやく
身体の疼きは
収まったけど…

どうしていきなり
こっちに来たか
わからないんだね？

ああ

もちろん
帰る方法も
わかりません

…ですが！



私と勇者さまなら
どんな困難も
乗り越えられます！

アタシと勇者は
魔王を倒した仲だしな！

ははは

む
く
っ



むきー！！

私もいたでしょう！

ぎゃー

お前だって
アタシを無視して…

…二人分の食費も
稼がないとな…

バイト増やさ…

こうして
俺と二人の生活が

このワンルームで
始まったのだった

・ END ・



いきなり異世界から
ミーシャとエレが
来たことにより

勇者さま!!

お!
帰ってきたか!?

情けないことに
過労で倒れて
しまった

勇者さま
こんなになるまで
お仕事を...

ちよつと働きすぎ
じゃないか?

ばたん

た...ただい...

バイトを増やした俺は

ふらあ...

勇者!?

勇者さま!!

第2話 私にできること

でもこれくらい
働かないと
三人分の食費が...

ほら
聞きました!?

あなた
貴女が食べすぎなのが
いけないと!

お前らが
食べなさすぎなんだよ!

アタシは普通だ!

いいえ
食べすぎです!

アタシが食べすぎか
どうかは置いておいて

…そうだ!

アタシも働くよ!

一応勇者に
この世界の事
教えてもらったしな!

イけるだろ

え?

…という訳で

エレは
引越しのバイトを
始めた

様子を
見て
来たけど

…意外と
なんとか
なるもんだな…

どういうカラクリかは
知らないけど

この世界の文字とかは
なぜか読めるように
なってたし

コミュニケーション
あればなんとか…

……





エレにはエレの

ミーシャにはミーシャの
いいところがあるから

きっと何か
できることがあるよ

で…でも
私は…

回復魔法以外…
何も…

ゆっくりできることを
探していけばいいよ

…でも…!

今すぐじゃなくても
いいんだよ

大丈夫



そうか…

勇者さまも
できないことを
努力して…



ミーシャは
凄い人だから

きっとこっちでも
何でも
できるようになるよ

カチャ

まあ…
一番ダメなのは

二人を養うことすら
できない
俺なんだけど…

うう…

ええ!!

いきなり
ネガティブ!!

異世界じゃ勇者だったけど
こっちじゃただの
内定の無い学生だもんな…

ミーシャたちも
こんな俺と一緒にいるのは
嫌だよな…

そんな事
ありません!

勇者さまが
私を信じてくださるのと
同じように

私も
勇者さまは
何でもできるって

信じています!

ぎゅっ

ミーシャ…

勇者さまは
お優しい方です

…それに



他の人は見て見ぬフリを
していた奴隷の私を
助けてくれました



初めて
出会った時もー…



何も得には
ならないのに

自分が痛い目に会うと
わかっているのに

…だって
ミーシャが辛そう
だったから…

ええ



ただ
それだけです

彼女を
はなせ!!

それだけで
自分を犠牲にしてまで
私を助けてくださいました

他の人には
できない芸当です

だから私は

勇者さまが
好きなんですよ

で…でも

ミーシヤだって
あの後商人を
石で殴ってたじゃないか

あ…あれは
今がチャンスと
思ったから…!

勇者さまが
行動を起こして
くれなければ

私は何も
できませんでしたよ

そ…そうなの？

そうです！

そう…
あの時私は



勇者さまが
この私に
興奮してくれた事です

は？

人間と亜人は
別の生き物ですから
そういう関係には
ならないのです

だからこの想いは
報われないと
思っていました

人間である勇者さまに
興奮していただけたのが
嬉しかったのです

…だから

これからもうっぱい
私に欲情してください

勇者さま♡

はぁ♡

彼女はずっと
悩んでいたんだ

それを少しでも
やわらげられるなら
俺は……

ふあ…
あああッ！

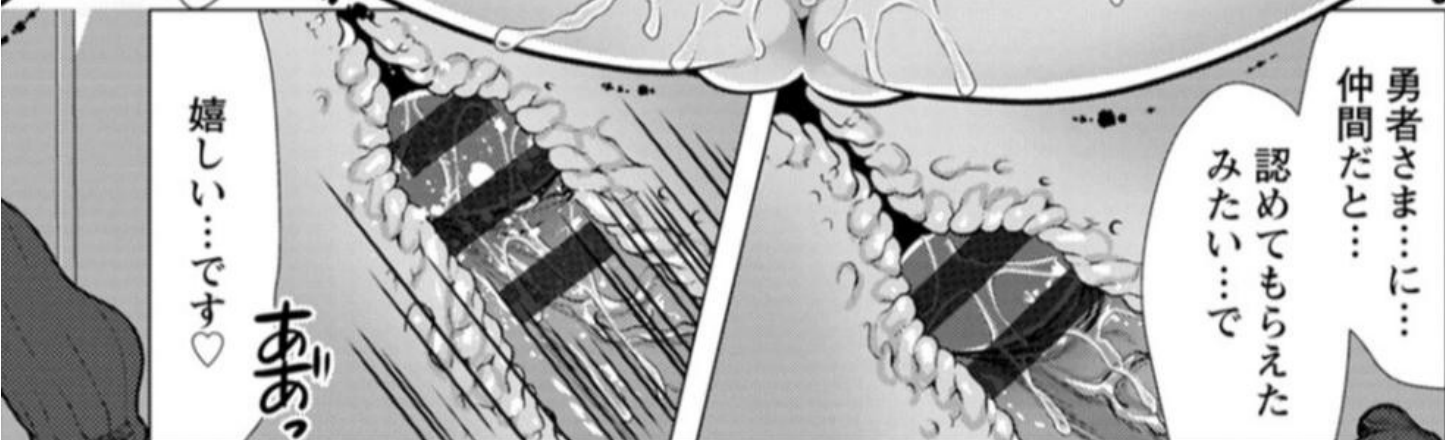
はい
挿入って…
きた……ッ!
あああああ



ああ…

また…
勇者さまと
一つになれました…♡

嬉しい…



勇者さま…に…
仲間だと…

認めてもらえた
みたい…で

嬉しい…です♡



ミーシャ…は…

向こうにいる時…から
仲間…だよ…!

勇者さま…!!

ああ、
ああ、
ああ、

はあ
はあ
はあ



ああ…ッ！



ずっと一緒に
いるよ…！

スズ
スズ
スズ

ああ…ッ
嬉しい…です！

ああ

スズ
スズ
スズ

ひううううッ！



スズ
スズ
スズ

ちゅん

スズ
スズ
スズ

どこへ…行っても…
一緒…に…
いた…いです♡



スズ

あッ

勇者さま…！

あッ

ああ

んあ

ちゅん

スズ

だ
た
め
た

きんぐ

ミーシャの腔内なかが
気持ち良すぎて：

腰が勝手に……っ

えっ？！

勇者さま：
はげし：い

ご……ごめん
俺……もう
我慢できなくて……

いゝ…ですよ

私…も…
もつとしたい…です

はー
はあ

もつと奥まで……
激しく……欲しい……！

スッ



お腹の奥……まで
勇者さま……の
モノになっちゃ……っ！

もうダメ…ッ

いつちゃ…

!!
!!!

んあ

21

A stylized sound effect 'Zon' written in a bold, black, handwritten font. It is accompanied by several curved motion lines that suggest a fast, sliding movement.

アハハ





はい

ここでバイトを？



近所にブックカフェなんて
あったんだ

ネコ耳メイド
ブックカフェ？



私にはエレのような
腕力はありません

だから
少しずつでも
何かできるように
したいと思ったんです



ここで
お客さんと雑談したり
本を読んだりして

この世界の知識を
もっと学んで

知力で勇者さまの
お役に立ちたいと
思います！

・END・

普通預金通帳

天沢 陸様

こ…
これは…!!

二人のおかげで
家計が
大助かりだよ!

ありがとう!

気にすんなよ

お役に立てて
嬉しいです!

…あ!

バイトの時間なので
私はこれで

第3話 強引なあいつ

ミーシャは出かけたが
勇者はどうする?

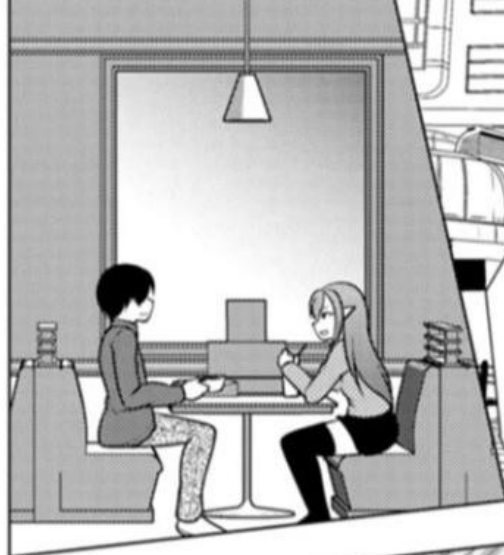
俺は今日は
バイト休みだし

特に予定はないよ

奇遇だな

アタシも
バイト休みだから…

にっ



一緒に
出かけるか！



ちよ…ちよつと
エレ！



次はこっちだ！

だ

うぎやつ！

エレ!!?

だ…大丈夫？

いたた…



これくらい
平気平気

今度はあっちの店
見に行こうぜ

……エレ

怪我してるんだから
帰るぞ!

ふに

え…でも
歩けるって

無理しちゃ
ダメだよ

…わかったよ

…押しが弱そうに見えて

おぶってあげるから

ええ!?

実は強引なんだよなあ…

あっちにいた頃もー…

いませんねえ…

洞窟に村のお子さんが
迷い込んだって
言ってたのに

入れ違いで
帰ったんじゃない？

子供の足では
こんな奥まで
これねーよ

モンスターも
いるのに…

すた

すた

すた

いったん
帰りましょっ？

入れ違いで
帰ったなら
いいけど

もしもつと奥に
いたら…!!

つかぬアッださうし

エレとミーシャは
先に戻っていいよ

俺一人で
探しておくから



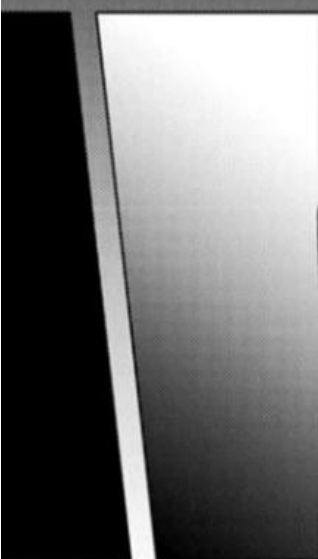
洞窟まで
来たのだ

それなのに
村の子供の
搜索を引き受けて



あの時アタシ達は
モンスター討伐の
依頼をこなした後で

とても疲れていた



タタッ

しょうがねーな
付き合ってやるよ

ええ
一緒に探しましょう

それでも彼は
そんな事は表に出さずに
搜索を続けるつもりだった

戦い慣れていないから
一番疲れているのは
勇者なのに



最後に一つだけ
行きたい所が
あってさ



え？
何が!?

誰かを助ける為なら
いつもより強引になる……

変わらねーな
お前は



ひろーい!!

ラブホテル!?

…行きたい所って…



じゃ
この場にあった
休憩しよっか

いやそういう
休憩じゃないんじや
ないかな…

料金表
ご休憩(2時間) ￥40
ご宿泊(夜10時～) ￥10

入口に
休憩って書いてあったし
ちようどいいだろ





こっちの世界の事も
わかってきてるんだよ

ここはエッチな事
する所なんだろ？



勇者も
やる気じゃねーか

おかしい

異世界でも
迫られたことは
あった

え…っ!?

その時は
我慢できたのに…

どうして
今はこんなにも
興奮するんだろう…

ぐいっ

ん…っ

あ…
あああああっ!!

はあ♡

はっ

ぐいっ

ぐいっ

ミィシヤには
内緒な

はー

抜け駆けすると
うるさいからな

…いやそれは…
この前
彼女ともしたし…

はー

ぐいっ

何だって!?

はあ

はあ

アイツ
アタシには
抜け駆けするとか
言っておいて

自分はやってたのかよ!?

ぐう

ぐう

かは

...こうなったら...

エレ?



んんん

勇者に
わからせてやる！

なっ!!

ミーシヤより
アタシの方が
気持ちいいって

はあ

はあ

びん

びん

ズッ

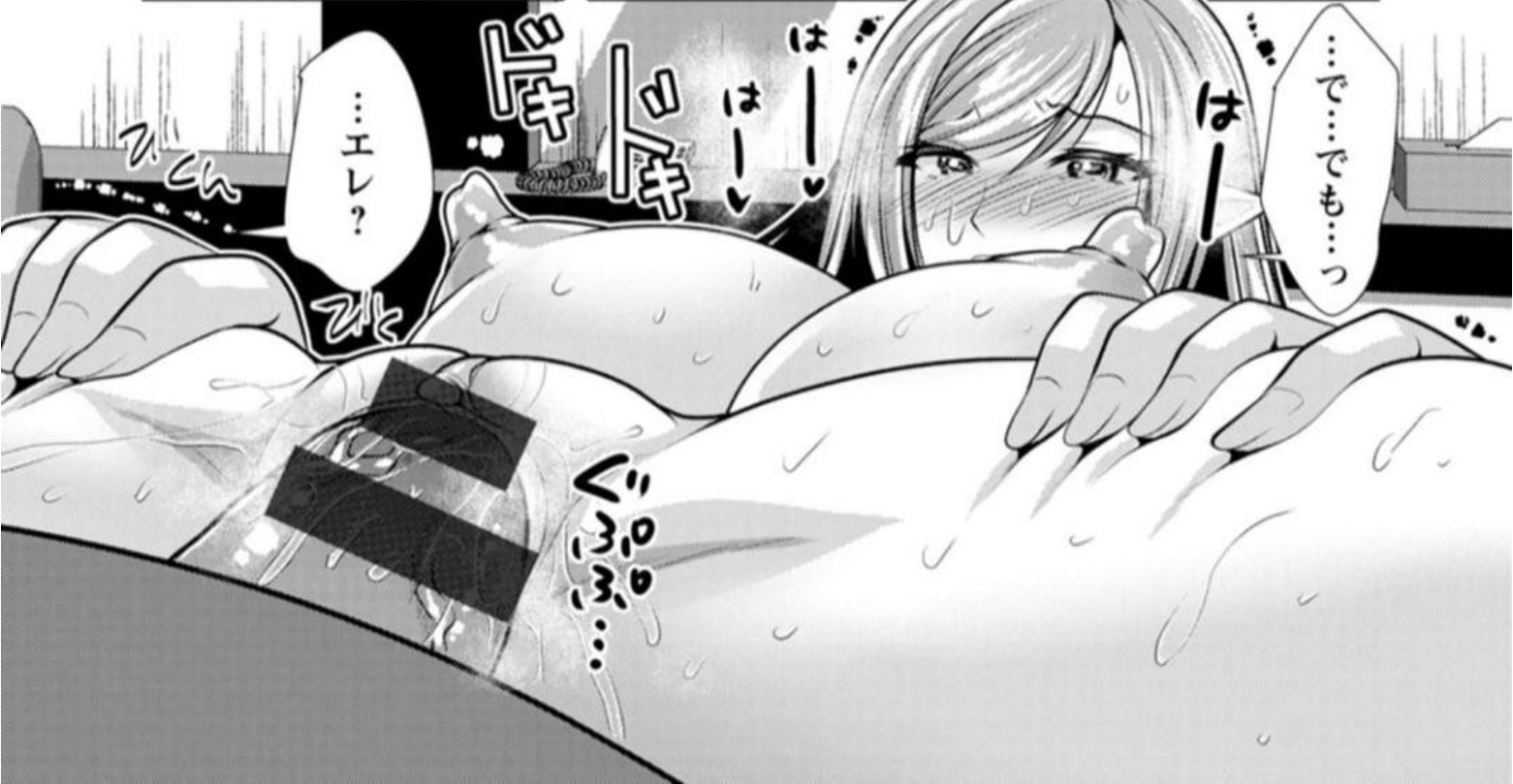
ズッ

ちゅ

ちゅ

ズッ





そんな事
言ってるくせに
感じてるじゃないか

あひいっ！

いっ
いっ
いっ

む
む
む

あ
あ
あ

だ…めえ…っ！

乳首…は
よわ…い…のにい…♡

あ…
ああああッ！

あ
あ
あ

あ
あ
あ

ま
ま
ま

き
き
き

ふ
ふ
ふ

は
は
は

と
と
と

熱い…の…
でて…ううううっ！♥

!!ツ!!!

あふ

ガッ
ガッ
は

 z''

22

2043

 $z^{\frac{1}{2}}$



異世界語の本……

いつたいたにが
書かれてるんだ？

私もまだ読んで
なくて……

読んでくれよ



……では……



「現在
二つの世界を転移すると

体は多大な影響を
受ける

その影響とは
性欲の異常な高まりだ」

ええええええ！

第4話 俺にあるもの

「なぜならば
それは……」

ここで終わっています
あとは

まじろ……

おいおい
そこで終わりかよ

……「現在」ってことは
昔は違ったってことか……？



なぜ途中で
文章が途切れているのか

その後には
何が書かれていたのか

…それはそうと

異様に性欲が
高まっていたの

気のせいじゃ
なかったのか…!





就活の為の
履歴書...

こんなの書いても
どうせ俺なんて...



小さい頃から
人より出来る事なんて
何もなかった



何もできない
誰にも好かれない

頑張る理由もない

...そう思って
生きていた

...そんなあの日
異世界に召喚された



そんな甘い話は
なかった

…と期待したが

アニメみたいに
チート能力でも
あるのか!?

結局自分は
住む世界が違っても
何もできない

…という事実を
突きつけられて
しまった

…が

勇者様

勇者様!
頼りにしています!

勇者様!
魔王を倒して
世界を救って……!

人に頼られるのは
初めてだった



あの人たちの
期待に応えたい

このままじゃ
どうせ何もできないんだ

ダメでもともと

頑張ってみよう…

ここは現実じゃない
異世界なんだ



努力してみたら
何か変わるかも…

そうして俺は
魔王を倒した
勇者になった…



……

現実世界に戻って
きてしまった

異世界で頑張った事は
こっちでは何の役にも
立たない

大学時代
何をしましたか？

異世界の魔王を
倒しました！

なんて
言えない…

免許・資格

趣味・特技

結局俺は
何もできない自分の
ままだった

おかえりなさい
勇者さま

やっと
帰ってきたか
勇者

…ただいまー

かちや





勇者

勇者さま

はー

はー

はー

はー

はー

はー

アタシたち
したくてたまらないんだ

はー

はー

はー

はー

はー

はー

いれて
ください……♡



転移の影響で
性欲が
高まっているから
我慢なんて！



あ…ひいっ！
奥まで…っ！



勇者さまの…
はいって…るう…っ♡

じゅぶじゅぶ
されて…
嬉し…い…！



だめ...で...すう...

おかし...く
なっひや...いそう...

はあ...
ああ...

はあ...
ああ...

あは...あは...
あは...あは...

ああ...
ああ...!!

アタシにも...
してくれよ

あ...あ...あ...
勇者

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン



しかも締め付けが
キツくて

逃げられないみたいだ…!

んあ

あ…すご…いつ

おっきいの…
はいってる…ッ

あ…

ふあ…
やだ…何で
抜いて…

あ…いきなり
奥ううううッ!!

だめだ…!
気持ち良すぎて
もう止められない…!!

はげし…すぎ…
好き…♡

はー♡
もっと…もっとお…

はあ

はあ





入ったり…出たり…
おかしく…なるう…っ

お腹の奥…
入って…♡

んあ

あゝ

ズグッ

ズグッ



あひいいいいッ!!

もう…
勇者さまの事…しか
考えられな…

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ



交互に…なんて
変に…なっひや…ッ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ



俺も…もう
おかしく
なりそうだ…!

んあ

ふああああッ!



熱いの…
でっ…るるるるるッ！

イッちや…るるるるるッ！

ズ
ク

ズ
ク



おかしい…
全然おさまらない…！

ガクガク

は

は

…勇者さま

もう一回
してください♡

アタシにも♡

あ…ああ





また落とされるかもしれないけど
諦めずに
頑張ろう！

よう！

履歴書
できた！

ミーシャとエレの為に！

第5話 努力の才能



…そういえば
二人はずっとこっちに
いられるんだろうか

あ！
あまさわ
天沢くん

教授

はい
これこの前の
レポート

すっ

ありがとうございます
ございます

今回も
いい文章だったよ

就職活動も
頑張るなさい

いい文章…？

ただいまー

あれ
ミーシャだけ？

何してんの？

エレはバイトが
長引いているそうです

私はバイトで使う
資料を作ってます

もうそんなに
パソコン使えるように
なったの!?

凄いよ!

あ…
ありがとう
ございます…



小さい頃…

小さい頃から
そういう才能が
あったの？



それにしても

ミーシャは
何でもすぐ習得して
できるようになるよね



奴隷生活は
過酷でした



私は…小さい頃
一族を殺されて

奴隷に
なった身です



あちらの世界の
奴隷は

遊びで殺されるか

労働力として
酷使されるか…です



マスターの言う事ができなければ鞭でぶたれました

私はそれから逃れる為

言われた事は一度で覚え

てきなど

ふたゆる...

出来ないことは出来るよう

毎日こっそり練習していました



言われたことができて

マスターの機嫌が悪いとぶたれるんですけどく

あはは

ご...ごめん



ミーシャが奴隷だった事忘れてた

無神経だった

...それと

何でも出来るのは才能じゃなくて

努力の成果だったんだね

それだけ努力できる
ミーシャは
凄いよ！

……勇者さま……

そんな風に
褒められたのは
初めてです

あれ……？

……ミーシャ
震えてる……

辛い事を
思い出させて
ごめん……！

す……すみません……

もう平気だと
思ってたんですけど……

……あ……

はあ
はあ……



がはっ

「**ゆる**」

あああ

54

奥からあふれてくる
みたいだ……！

あま

あゝ

54

ちゅ



はあ

は…っ

…ミミーシヤ

何で上に
乗ってるんだ？

は—っ

うふふ♡

は—

は—

は—

は—

ありがとうございます
勇者さま

おかげで
落ち着きました

は—

は—

あ…
あ…
ああ…

これから
えっちしちゃう
からです♡

は—

は—

この体勢の
理由にはなっ…

…それは

ええ!?

何で!?

くちゅ…

さわっ

私…いっただけでは
満足…できなく…て…

勇者さま…のが
…欲しくて…え

ああああ!!

くちゅ

くちゅ…

ブルン

ズレ…ズレ

で…でも
さっきあんなに
震えてたし…

転移の影響で
性欲が高まってる
とはいえ

今…は…
やめた…方が

ズレ

とう

とう







彼女に気持ちよく
なってもらおう事…!

ズ
ン

ズ
ン

ズ
ン

あ…ひいひいッ!

あッ

ああッ
てあッ

ズ
ン

あ…抜いちや…
やだ…あ…

ぬッ…

ふああああッ

ず
ん

ず
ん

はげし…すぎ…
うれしい…です♡

あッ

ず
ん

ず
ん

あッ

ず
ん

嫌な事は
全部忘れて
ほしい……！

このま……ま……
ずっと……一緒……に……ッ

勇者……さま……ッ

最後……まで……
このま……ま……

もう……おかし……く
なっちゃ……ッ！

離れないで……ッ！

あぁ

あぁ
あぁ

あぁ

あぁ

ぬぷ

スツ

ビク

ビク

ビク

なか
腔内が
とろけて…!

俺…もう
限界…だ…ッ

私…も
頭が…真っ白…に
なりそ…っ

なか
腔内…に
熱い…のでて…

いつちや…っ
あああああッ!

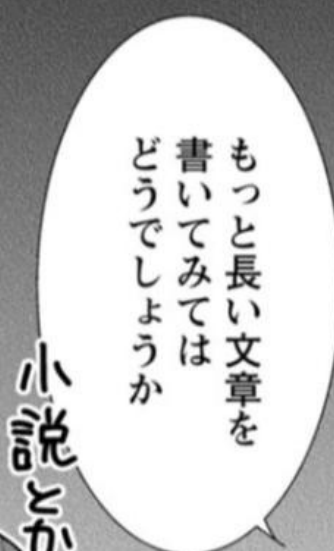
びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん



今日は
バイト休み？

ああ

勇者やミーシャが
読んでるから
自分も…って
思ったんだけど…

むずかしい…

本
読んでるなんて
珍しいね

第6話 私の学び

無理して
読まなくても
いいんじゃない？

でもさー

最近二人とも
いろいろ
がんばってるだろ？

だからアタシも
何かやりたいな…って
思ってるさ



アタシはさ
森の中の村で
育ったんだけど

子供のころから
戦士として
育てられて
たんだ

毎日毎日
剣の修行

戦う事以外は
知らなかったし

知らなくても
いいって
思ってた

…でもさ
勇者たちを見てたら
それじゃ
いけないのかなって





言わせんなよ…
恥ずかしい…



お前たち
二人の仲に
嫉妬した
っていうか…

自分も会話に
加わりたいて
いうか…

もじ

もじ



あーもう！



はい！



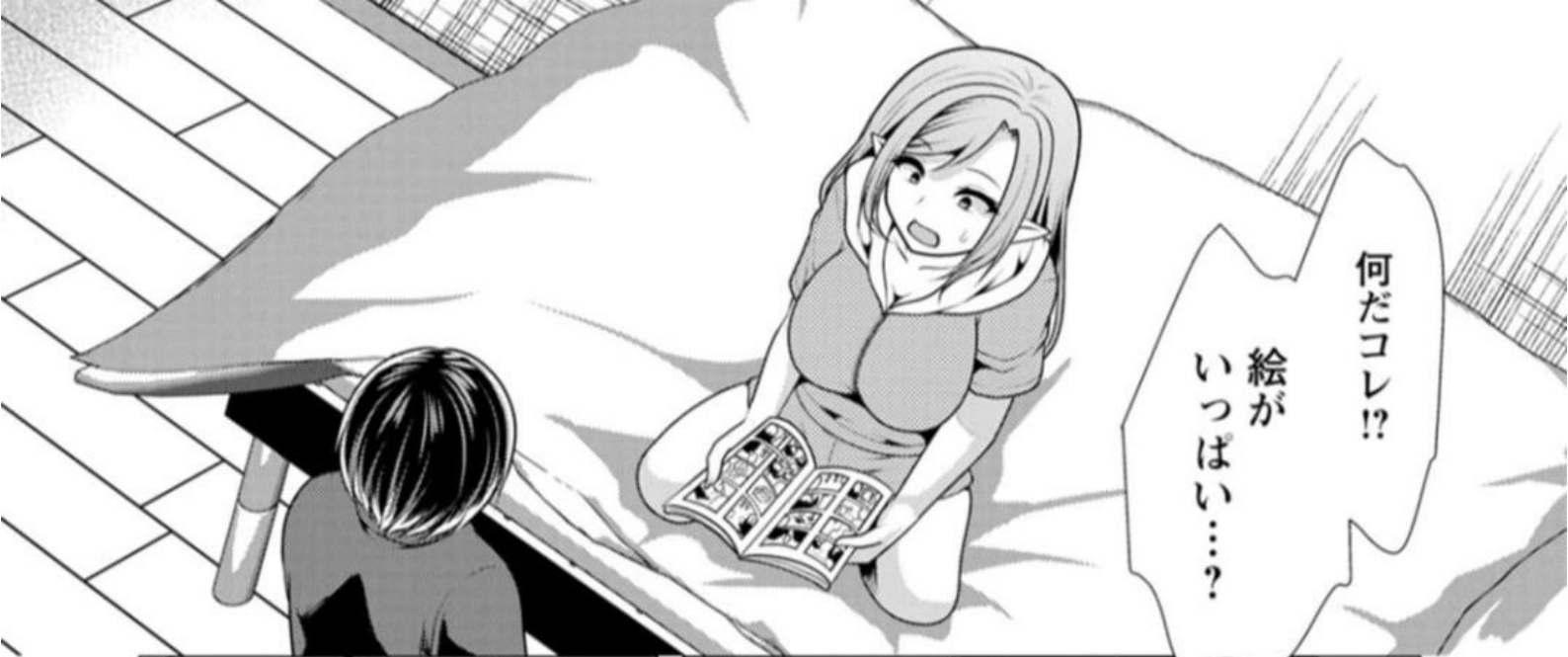
…でもいきなり
本はハードル
高いんじゃない？

あ！！

ゴッ

ゴッ

ゴッ



何だコレ!?

絵が
いっぱい……?

漫画だよ

絵が付いてる方が
読みやすいかなって

読み方は
教えるから

勇者
ありがとな



……ん?

どうした?

なんかい
…

あああああ

これと同じ事
してみよっか♡

ええ!?

間違っ
て
工口漫画まで
渡してた——！

ああああ

そ…その本は
間違いい…で…
見ないで…

こういうのが
好きなのかく

嫌……じゃないです……

かああ

$$L_4 =$$

しや

✓

...!!

本当にこれが
好きなんだな

しよ…
しようが
ないだろ…

あぁ
別にいいよ

この趣味

アタシたちだけの
秘密な♡

あ…そんな…
はげし…く
ぐあっ

された…ら…ッ！



イク…!!

んんっ!!

ドュッ

ドュッ

あくあ

せつかくの
精液が…

…え…?

へっ
3っ



アタシで
イってくれたのは
嬉しいけどな

かあッ



足に出すの

もったいないと
思わないか?

え...エレ...?



それにアタシも
固くておっきいの
に触れてたら

するる

くちゅ

我慢できなく
なってきたし

次はこっちに
いっばい
もらうからな

カリッ

...だからさ

くちゅ





女…に
乗られる…の

好き…
なんだろ…?

い…いや…
そういう…訳じゃ…

この方…が…
奥まで…
届く…だろ?

嘘…ばっかり…!

ひうっ!!



こういうの
好きだなんて
知らなかったなく

恥ずかしくて
言い出せなかったのか?

んん

アタシはいくらでも
勇者の好みに
合わせられるのに

このまま
エシの好きなように
されるのは…!

カッ

え…っ!!





あひ…ッ!

ふ…
ちゅん

ふ…
ちゅん



落ち着い…て…ッ

あッ

ふ…

ふ…

ふ…

ハッ

ハッ

あッ

ちよ…つと…
はげし…すぎ…ッ



あ…
ああ!?

ハッ

ふ…
あん

あッ

ふ…
ふ…

おかし…く
なっちや…ッ





あーっ

んあッ

うう

あ…ああ…
見られちゃうよお…

あッ

カッ

カッ

カッ

カッ



見られ
ちゃう…のに…
アタシ…

さつきまで…より
感じ…て…

ああああッ！

ズッ
ズッ
ズッ

うう



もっと…されたく
なっちゃった…よお…っ！！

あ…あ…

はーッ

はーッ

見られるかも…って
思いながら…
する…の…

はーッ

気持ち…
いい…ッ！



あ...ひ...っ

好き...ッ

これ好きいい...

これ...だけ
じゃな...く...っ

勇者に...
される事
...なら

何でも好き...ッ!

もっともっと...
これから...も

あ...っ!

アタシ...と一緒に...に
気持ちよく...
なってほし...

なか
腔内
でおつきく...!?



7

あ

で 熱い 熱いの
て 内 内
… …
っ に に

אנחנו מוכנים

ビュン



うん…
渡した本が偶然
それだっただけで…

乗られるのだけが
好きなんじゃ
ないのか…
色々
ある…



なるほど…



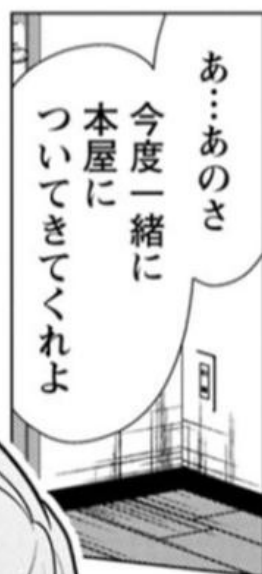
うん
いいよ

もい

せい

読みやすい本を
選んでほしいんだ

漫画に慣れたら
本も読める
ようになる
気がするから



あ…あのさ
今度一緒に
本屋に
ついてきてくれよ



今度
こういうプレイも
しような♡

おっと
それとは別に…

・END・





異世界で
やったように
こっちの世界でも
誰かの役に
立てるように
なりたい…

…ッ!?

ドムン



ええええ!?
近い…!

いきなり
ぶつかって
きた…!?

いたた…



…あ…あの
どこかで
会いました…か…?

……貴方

ジュン



わたくしに
ついてきて
ください！

え…えええ!!

あ…あの…?

我慢しないと…
いけない…のに…

はー
はー

な…
何なんだ
この人—!?



でも…
もう今更だし

我慢しなくても
いい…か…

へろっ

ぎゅっ

うわ!!



んぶうんぶうんぶ!?

ビュルッ
イク...!!



カハハハ

...あ...あの
俺はこの辺で...

帰ります...

これほど...
なんて...

わたくしも
我慢できなく
なりました♡

え...は!?



こんなの…
初めて…ッ

は…あ…
す…っ

このまま
動かれたら
すぐにでも…

はあ、

は、
はあ

…っ!?

次は
動きますね…!

あ…ちよ…
やめ…っ

激しすぎる…

んんっ！

ズッ

んん

あらあら…
興奮…してる
みたい…

…このまま…
イって…も
いいんですよ？

ん

ズッ

はあ

はっ

ん

んん

ズッ

ズッ

ぐわ…っ！

ああ…っ！

はっ

はっ

ズッ

ほらほら♡

ほら♡

はっ

はっ

はっ

はっ



…わたくしが満足する…まで

付き合って…♡

んあっ
ぞ



ああ…♡

はあはっ

あっ

本当に
きもち…いい…っ

あっ

ぬち
すっ
ぐっ
すっ
ぐっ

はあ
はっ

ああ

んああ

性欲が高まるの…も
いいです…わね…っ

ああ

このまま
この人にいいように
されるのは…







ふめめめめッ！

ズン

はあ

はう



はあ

はう

気持ちいい…
なんて…

ガッ
ガッ

後ろから…
されてる…のに…



はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん



だし…て…ッ

…熱いの…
だされ…て

イシイ

ズン

24



あの...そろそろ
離して
もらえませんかね...

え~~~~~?

もう一回
やりませんか?

やりませんよ...

あ——!



賢者さま!?



勇者!

タッ
タッ

ここに
いたんですね

帰ってこないから
心配して...

あ!?

あら〜

エレとミーシヤじや
ないですかー

賢者…？

…って…異世界に
俺を召喚した賢者か…！？

皆さんに
伝えたいことが
あつて
きたのですよ

じゃあ
さつさと
伝えにすれば
よかつたじゃないか

むー

え~~~~？

ごほん

…実は

魔王が
復活したのです

何で！？

魔王は勇者さまが
倒したはずでは！？

…俺が…
異世界でやった事…は

無駄だった…って
事か…？

・END・

魔王が
復活した……!?

魔王は
倒される間際に

貴方たちに
二つの魔法を
かけていました

第8話 絶望と信頼と

一つ目は
世界を移動した者の
性欲が高まる魔法

二つ目は
その性欲に負けて
セックスすると

魔王が復活する
魔法です

それについて
書いた本を

そちらに
転送したのですが
無駄でしたね…

あ…あの本は
賢者さまが…

だって
途中までしか
読めなかったし…

…魔王が
復活したのは
俺のせい

唯一俺が
成し遂げた
言ってもいい
魔王討伐

か?

か?

それが無駄に
なってしまった...

大丈夫ですよ
勇者さま!

一度
倒せた相手です

何度でも
倒せますよ!

おう!
アタシも
また一緒に
戦うぜ!

もう一度
アイツを
倒すなんて
できない!...

...ごめん
...俺には...
無理だ...





全部
無駄だったじゃ
ないか！



エレもミーシヤも
そのうち
何もできない
俺を見捨ててー…

違う！



お前を
見捨てなんて
しない！



私は
勇者さまの為なら
何でもします！

魔王の魔法のせいで
性欲が…とか

今回に限っては
それは言い訳だ



…じゃあ

ト
ザッ

え…
勇者…さま…？

いきなり
何だ…？

俺の苛立ちを
二人にぶつけた
だけなのだから…

ギリッ

わからないわけ
ないだろ…！

はっ

どう…？

ビクッ



いき...なり
いれるなんて...ッ!

んあ

はっ
はあ

こんな事をしても
何の解決にも
ならない

どきどき

あゝ

わかってるのに
俺は衝動を
抑えられなくて

奥...までっ
はいって...ッ!!

はっ
はっ
かか



どっかん

あゝ

ちゅ

はちゅ

あゝ

はげし...すぎ...

...いつもの...
勇者さま...
じゃない...

きゅ

ん

ん

ん

...でも
私は...

...でも

はあ
はっ

んあ

ズン
ズン
ズン

勇者さま……が
したい事……なら

私……は……
嬉しい……です……っ

ミーシヤ……!

んっ

んあ、

勇者さま……っ
そこ……だめ……っ

ごりゅ……ごりゅ……っ
こすられ……てえ……ッ

決して自分を
拒絶しない

優しい二人に
甘えていた

ズッ

ズッ

ズッ

んあ、
あ、あ、

ズッ

ドン
ドン

はー

はー

……





ふあ…っ

あぁぁぁぁぁぁぁぁぁぁ!!

はるっ
あぁ

んあ
あぁ

すじ…い…っ

こんな…
おつきい…
なんて…ッ

普段より
かたい…ッ!

スゴ

ああああッ!

あぁ

お腹…の奥…
ぶつかって…ッ!

はあ
はっ





私にも
また...♡

はあ

はあ

はあ

はあ

あ...ああ...

んんッ!?

ちゅっ
いっ
ちゅっ

スッ
スッ

アタシも♡

はっ

はっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

これ...で...三人で
楽しめ...ます...ね♡

ミーシャが
顔の上に乗って...!?

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



はあはっ

一緒に……
いられれば……

俺は：
それだけで……

んがががががッ!!

はあ



ト...

魔王復活の事など
忘れたかのように

何事もなく
数日が過ぎた

ただい…ま…

カチャ

二人とも
その恰好は!?

戦闘用の装備だ

向こうの世界で
着てた服ですね

賢者さまに
聞いたんです

向こうの世界に
帰る方法を
知っている

向こうの世界!?

帰る!?

二人で
話し合ってたさ

自分たちの
世界の事は

自分たちで
ケリをつけたい
…って思ったんだ

…だから

勇者さまに
頼らず

私たちで
復活した魔王を
倒そうと思います

な…!?

一度
倒したんだ
何とかなるだろ

賢者さまにも
付き合っ
てもらいましょう

俺を見捨てない…って
言ってたのに…

一緒にいたいって…
思ったのに…

勇者さま

私たちの世界を
一度救ってくれて

ありがとう
ございました

勇者は何も
できないヤツ
なんかじゃない

アタシたちを
幸せにして
くれたよ

この二人で
魔王を倒す…!?

不可能だ

あの時

あんなに

苦労したのに…

死んでしまう

かもしれない

俺がいたとしても
勝てるとは思えない

でもだからといって
俺にできることは
何も…

賢者さま!!

ただいま

ビッグニュースですよ

・END・



じゃあ
どこに……？

実は
魔王が復活したのは
わかったのですが
あつちの世界には
いなかったんですよ



ビッグニュース……？



異世界じゃなくて!?

魔王は
こつちの世界にいます

最終話 みんなでひとつに

わたくしが
この世界に来たのは
魔王をあつちに
連れ帰るため
なんですよ

まだ封印が完全に
解けていないのか
魔王の魔力は
かなり微量で
詳細な場所を
検知できなくて……

そしてどうやら
わたくしたちの
魔力は
魔王の復活具合と
連動してる
みたいです
……だから

魔王の封印を
あとちよつと
ゆるめるために

セックス
しましょう！

封印が弱まったなら
完全に復活して
しまふんじゃ…？

わたくしが検知できる
ぐらいまでなら
悪さはできませんね

せいぜい寝ぐせが
治りにくくなる魔法が
使える程度でしょう

…何その魔法…







イ...く...っ!!

ドッ

クッ

だ...だめだ...

いったのに
物足りない...

勇者



はー

はー

はー



満足するまで
しましろう♡

何時間でも…ね？



そのまま…
一気に…奥…まで
いれてくださ…

あ…♡

くっ…

あ…っ

んあぁっ

ずん

ん

すっぴん!!

あぁっ

ずん

欲しかった…ん
…です…っ

はあ

さつきから…
ずっと…っ♡

はあ

ずん

はあ





ぎゅん

膣内^{なか}が
締め付けて……

ふあ……っ！

ズ
ッ

あわっっっっ！！

アタシも……♡

あ
あ
あ

わたくしも
勇者さまを
気持ちよく
してあげたいです

ハ
ッ

ちゅ

ちゅ
はっ

あ
あ
ズ
ッ
ズ
ッ

ちゅ
ちゅ

ハ
ッ

うあ……っ

ハ
ッ

ハ
ッ

3人が俺を
気持ちよくしようと
してきて...

ふあ

ぶるん
ぶるん

ちゅちゅる

あ

ん
ん

も

頭がおかしく
なりそうだ...!

こっちも
気持ちよすぎて
腰が止まらない...!

またおつきく
なって...♡

ふあ

ちゅ

ぐほ

ぶるん

ぶるん

ぐほ

奥まで...
突かれて...っ

あーん

ちゅ

勇者...さま...っ

私...4人で
気持ちよく
になりたい...です...っ

はーん

はーん





ビュルッ

あああ出て…っ！

あ…っ

えあ

バ

あああ
あああ
あああ

びく





この前
風船を取って
あげた…!!



この子が
魔王ちゃんでーす!

うむ
魔王だ

びん

数日後



は〜な〜せ〜!!

ぎゅ

魔力がないから
雑魚魔王なん
ですけどねー

馬鹿な
勇者よ

失った
魔力がこもって
おったのじゃ

わがはい
吾輩が
魔王と知らず

あの風船には



あ!

勇者さま達には
お礼を
言わなくては

…?



性欲を
高められたのに

我慢して
くれていた
でしょう？

そのおかげで
魔王の封印が

完全には
解けなかつた
んですよ

今までの俺の行動は
無駄じゃ
なかったんだ…



あれだけしたのに
我慢した事に
なるんだ…

かああ

我慢して
なかったら
どんな事に…



…それでは
わたくしは
予定通り

魔王を連れて
異世界に帰ろうと
思います

短い間でしたが
お世話になりました

…それでは…

…あ…れ？

はなせ

ふわ



給料日後の
休日！

今日は豪華に
宅配サービスで
フルーツタルトを
頼んだ！

文を受け付けました
配達まで26分

お！
届いた！

月に一度の
スイーツ…！

すっ

よしの
吉野さん！
申し訳ありません！

お届けガールつまみ食い♡

サッ！

宅配のタルト
食べてしまいました！

は？
えええええ！

彼女は
愛野さん

大学生

すみません…

今日は朝からずっと
宅配サービスの
バイトをしていて

空腹だったらしい

いくら
空腹だったと
言っても

商品を
勝手に
食べるのはなあ…

宅配サービスの
運営に連絡するか…

ま…
待ってください!!

今運営に
連絡しようと
してますね!?

はい

運営に連絡されると
首になっちゃうんです…

助けてください…

え…あ…
まあ…

そうは
言っても…

そうですね

楽しみに
してたんですね…

何か
他のもので
お詫びします

月に一度の
楽しみだったから

よっぽどの物
じゃないとなあ…

こ…
こ…
こういうのは…?

ぬぎッ

ふんっ

な…何ですか!?
服着てください!

夕飯の
おかずに!
ぜひ!

いやいやいや!!

…ッ!?

カッ



えい！

や…
やわらかい！



女の人の胸
初めて触ったけど…



すべすべで
暖かくて…

もっと触れて
いたくなる…

ふに

ふに

ふに

ふに

ヤバ…!
このままじゃ
興奮してるって
バレ…

…吉野さん

私も…
興奮しちゃいました

ああああ
すみません
すみません!
興奮してなんて
いません!

…え…

はあ

こっちも
食べてください♡

しゃしゃ

するるる

たまたま食へろって
言われても...

はっ

すっ

え...?

どろろろろ

どろろ

汗の匂いと
甘酸っぱい味が...

んっ!

めく

それは...違...ッ

あはははははは...

いっしょに...

いっしょに...



朝から…ずっと
走り回ってた…から

はあ

はあ

そんなとこ…っ

汚…い…よお…っ

ちゅる、

あっ

ちゅる、

んっ

びん

もう…だめ…ッ

イッちやういっちやうッ!!

あまああ!!

吉野…さん…

こんどこそ…
私を食べて…

は…はい

ああっ

さっき
会ったばかりの子と…

セックスしてるー！

ぐちゅ…

入ってき…

ふんふんふん！！

ズン！！ズン！！

すごい…
固くて…おっきい…

はー

はー

ズン

ズン





愛野さ...!!

ん...っ

口も暖かくて...
甘い...

んあ
はっ

はあっ

甘い...けど
これは...

とろみ...

フルーツタルトの
味...

俺が食べるはず
だったの...

すみません...

もっと
お好きなように
していただいて
良いので…

…それなら…

んあ

くっ

ふっ

ふっ

はっ

くっ

すっ

すっ

くっ

ふっ

お…奥…ッ

さっきまでより
奥に…
とどいて…っ！

あ



おく…まで
とどいて…!

あ

ず
3.0
ん

んあ

す
3.0
3.1

ス
7.0
7.0

私…いっぱい
感じて…っ

食べられ…てっ
いただかれてる…!

あ
あ
あ

もつとゆっくり…

あ…あの
これ以上…は…

あ
あ
あ

んあ
んあ
んあ

ただの
お詫び…だった
のに…

き
き
き







ワンルーム
ONE ROOM HAREN
バーレム♡

異世界帰りの
勇者さま♡

こんにちは。松波です。
読んでいただきありがとうございました！

今回は
異世界帰りの勇者＋その仲間たちのお話…
ということで、普段とはまた違う雰囲気
で描けて楽しかったです！

猫耳もエルフも大好きなので、
いっぱい描けて嬉しかったです。
唯一の心残りはページ数の都合で
魔王ちゃんの成長後の姿を
描けなかったことですかね…。
というわけでここで描いてみました。
多分一番の巨乳。

また機会がありましたら
別の本でお会いしましょう。
ではまたー！

2024.

おなみ32



【初出】

ワンルーム ハーレム♥~異世界帰りの勇者さま~

『アクションピザッツ』

2022年11月号

2023年1月号 3月号 5月号 7月号 9月号 11月号

2024年1月号 3月号(隔月掲載)

お届けガール つまみ食い♥

『アクションピザッツ』

2022年9月号



カバー折返し・1



CONTENTS

- 003 第1話 帰ってきた俺
- 023 第2話 私にできること
- 041 第3話 強引なあいつ
- 059 第4話 俺にあるもの
- 077 第5話 努力の才能
- 095 第6話 私の学び
- 113 第7話 いきなり来た彼女
- 131 第8話 絶望と信頼と
- 149 最終話 みんなでひとつに
- 167 お届けガール つまみ食い♥
- 186 あとがき
- 187 初出

COVER DESIGN: 古谷昌博 (神楽坂マガジン社)

カバー・表



カバー・裏＋背表紙



雑誌52260-98

エンジェル出版



カバー折返し・2

ワンルーム
ONE ROOM HOUSE
バーレム♡
異世界転生の
勇者さん



表紙・表



表紙・裏





エンジェルコミックス

ワンルームハーレム♥

い せ かいがえ ゆうしゃ
～異世界帰りの勇者さま～

2024年4月17日 第1刷発行

まつなみ る み
著者◎●松波留美

発行者◎●庄盛克也

印刷所◎●TOPPAN株式会社

発行所◎●株式会社エンジェル出版

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3-28

[営業]03-5261-4860

[編集]03-5261-4846

装幀◎●古谷昌博(神楽坂マガジン社)

装画◎●松波留美

落丁・乱丁の場合は本社にてお取り替えいたします。

●定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

©Rumi Matsunami 2022 Printed in Japan.

ISBN978-4-86772-088-2 C9979

◆この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。